



ソフト+認定

## コスモ横浜常盤台公園



### 基本情報

- ① 保土ヶ谷区常盤台
- ② コスモ横浜常盤台公園自治会
- ③ 地上7階
- ④ 128戸
- ⑤ 既存・分譲

### ソフト+認定の概要

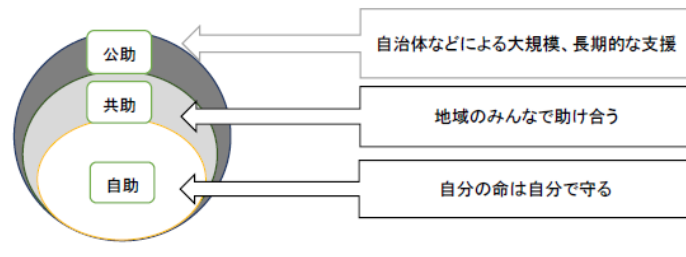
#### 【防災組織】

マンション自治会の役員で防災組織を結成  
震度5強以上の地震で災害対策本部を  
設置

#### 【防災マニュアル】

「自助」と「共助」を中心に各居住者に行動  
ガイドラインを示すことを目的としてマニュアルを  
作成

#### ● 公助、共助、自助の役割分担



▲ 公助、共助、自助の役割分担の考え方

#### 【地域との防災訓練】

常盤台小学校地域防災拠点運営  
委員会として地域防災拠点までの避  
難経路確認、避難所開設等の訓練  
を実施

(令和4年度)

#### 【地域交流活動】

連合町内会の一員として常盤公園  
ウォークラリーなどを行う「わいわい文化  
まつり」を実施 (令和4年度)

The poster is for the 'Wa-Wai Culture Festival' held at Hirakata Park on November 27th (Sunday) from 10:00 to 14:30. It features a 'ウォークラリー 常盤公園へGO!' (Walk Rally to Hirakata Park) with a small loop, rain cancellation, and a goal of 10 points. It also includes a '記念講演会' (Commemorative Lecture) at the gymnasium after the walk, and a '作品展' (Art Exhibition) at the park. The poster is decorated with illustrations of people and trees.

▲ ワイワイ文化まつりチラシ

#### 防災備品の更新基準

防災備品のうち、各家庭の備蓄を補うために集會室などに備蓄する食料類・水・トイレバックの備蓄量の  
考え方、および更新の方法を示します。

- 各家庭が3日間生活できる一人当たりの所要備蓄量
  - 食料類 : 3食 x 3日
  - 水 : 3 L x 3日
  - トイレバック: 5個 x 3日
- 住居人数  
戸数128に対して、平均2.5人/戸と想定する(全320)
- 消費期限  
食料、水、トイレバックいづれも5年とする。

備蓄品	所要量 /人	全所要 量 x320	年度					備蓄 計	備蓄 割合
			手配年度	2019	2020	2021	2022		
		a	2024	2025	2026	2027	2028	b	b/a

食料	9食	2,880	a1
水	9 L	2,880	a2
トイレ	15個	4,800	a3

	備蓄数量を記入	b1	①
		b2	②
		b3	③

#### <備蓄量の基準>

- 自助70%、共助20%、公助10%の目安に基づいて、自治会にて備蓄する量は、全所要量の20%を基準とする。
- 食料 ①(a1/b1) は、基準に基づいて20%を備蓄する。ビズケットなどの菓子は補助的な扱いとする。
- 水 ②(a2/b2) は、全所要量の10%を備蓄する。1階の受水槽室に、飲料水が常時最大48,600L貯水されており、緊急時に給水が可能であるため、基準に対する不足分は、バケツ、ポリ容器などにより、この給水にて補充するものとする。
- 飲料以外の、洗濯・風呂用水なども、受水槽から給水する。
- 非常時には、時間を決めて、管理人ないしは自治会役員が受水槽室に待機し、給水の管理を行う。
- トイレバック ③(a3/b3) は、全所要量の10%を備蓄し、不足分は、受水槽の給水にて代用する。
- 消費期限が近づいた食飲料については、期限内に住民希望者に配布するなどにより、食品ロスをなくす。
- 配布などにより不足になった備蓄分については上記の基準を満たすように、速やかに購入・補充する。

▲ 防災備品の更新基準の考え方